



2学年だより

宇部工業高校との連携による探究学習の深化

夏休みに「防災」または「ごみ問題」について探究レポートを作成し、現在はその内容をもとに班ごとにテーマを設定し、探究学習を進めています。今回は、宇部工業高校の代表の生徒に来校していただき、探究の進め方についてのアドバイスをもらいました。学校紹介もあり、宇部工業高校への関心も高まりました。

今年度、桃山中学校では「やまぐち PRIDE」を合言葉に、ふるさと山口の地域づくりに主体的に参画しようとする人材の育成をめざし、小・中・高・地域・産業等と連携・協働した取組をしています。今回の交流は、そのキャリア教育の一環として行われたものです。

高校生からの助言を受けたことで、生徒たちは自分たちの探究の方向性を見直し、「何を確かめたいのか」「もっと知りたいことは何か」を班で話し合い、学びを深めることができました。

生徒の振り返りより

- ・ 高校生のアドバイスでハザードマップを使い、起こる災害を調べることができました。次回はもっと調べて対策を考えようと思いました。
- ・ 高校生に、自分たちの案について問題点を教えてもらったり、提案してもらったりしたおかげで、新たに考えなければならないことや改善の仕方、考え方のヒントが見えた。
- ・ 今日、高校生と話してみて、「言葉は詳しく正確に書く」ことが大切だと教わりました。次の時間は、皆に響くような言葉を考えて文章をつくっていきたいです。
- ・ ぼんやりとしていた考えが高校生からのアドバイスではっきりしてきました。宣伝を主に進めていこうというふうに決まりました。コンポストを使うことの自分へのメリットについて考えていきたいと思います。
- ・ 高校の方々に色々な科について教えてもらったり、班の話し合いを見てもらいました。高校生になったら、次は僕が中学生に教える側になりたいと思います。

高校生との対話は、生徒たちにとって学びの視点が広がる経験となりました。よりよい探究に向けて次の一步をふみ出すきっかけになったようです。「あこがれの連鎖で紡ぐキャリア教育推進事業」として、今後も地域や高校との連携をいかしながら、主体的に学び続けます。